

盛岡市デジタル化によるまちづくり推進戦略 アクションプラン

令和7年3月31日改定版

盛岡市デジタル化によるまちづくり推進戦略アクションプラン

視点	活動の方向性	取組方針	事業名 ○:計画事業、☆:検討事業	事業概要
視点1 市民の生活				
活動の方向性① 一人ひとりにやさしいデジタル化の推進				
取組方針(1) デジタル格差の解消				
			○高齢者等を対象としたスマホ教室の開催(情報企画課)	ソフトバンク㈱との「自治体DX推進」に関する連携協定の一環として、デジタル活用に不安のある高齢者等を対象にソフトバンク㈱と連携しながらスマホ教室を実施する。
取組方針(2) 公共サービスのデジタル化推進				
			○行政手続きのオンライン化(情報企画課)	「岩手県電子申請システム」、「ぴったりサービス」を活用し、個人や法人を対象とした行政手続きのオンライン化を実現する。
			○「書かない、待たない、行かない」窓口(情報企画課)	市民の利便性向上を図るため、「書かない、待たない、行かない窓口」の実現を目指す(Web口座振替受付サービス、書かない窓口)。
			☆公共施設予約のオンライン化(情報企画課)	市民や事業者の公共施設利用の利便性向上を図るため、公共施設予約のオンライン化を目指す。
取組方針(3) ネットワーク環境の向上				
			☆社会教育施設通信環境整備事業(生涯学習課)	情報通信技術を活用しつつ、多様な主体と連携、協働しながら魅力的な教育活動を展開し、ひとづくり、地域づくりを促進するため、地区公民館、図書館及び子ども科学館の社会教育施設に通信環境(Wi-Fi、有線LAN)を整備する。
活動の方向性② 生活に根差したデジタル化の推進				
取組方針(4) 市民の利便性向上のための市民アプリ(MORIOペイ等)の利用拡大				
			○MORIOペイを活用した地域情報の発信等(経済企画課)	地域経済循環型電子決済ツール「MORIOペイ」の利便性の向上を利用の拡大を図るため、大学や民間シンクタンクと連携し、キャッシュレス決済の普及促進、市内店舗情報発信の促進などによる市民サービスの向上と地域経済の活性化に関する調査研究を実施する。
			○資源・ごみ分別アプリの運用(資源循環推進課)	市民へごみ分別の効率的な啓発を行い、分別が実施されることによるごみの減量を目指す。
取組方針(5) デジタル活用による地域コミュニティ活動の改善				
			☆町内会におけるデジタル化の推進(市民協働推進課)	高齢者等を対象としたスマホ教室と連携して、町内会のデジタル化を推進することにより、町内会の負担軽減や町内会活動への参加促進につなげる。
取組方針(6) 防犯・防災情報の発信強化				
			☆盛岡市災害対策本部デジタル化推進事業(危機管理防災課)	災害対策本部の総合的な防災情報システムや機器導入によるデジタル化により、災害対策本部業務の迅速化、効率化、正確性の向上等を図り、市職員の負担軽減や更なる市民の安全確保につなげる。
取組方針(7) デジタル活用による環境負荷の低減推進				
			○盛岡市住宅用太陽光発電システム等設置費補助金(環境企画課)	住宅用太陽光発電システム及びHEMS(ホームエネルギーマネジメントシステム)の設置に係る経費を補助することで、太陽光発電の普及及びエネルギー利用の効率化を図り、ICT活用による環境負荷の低減を推進する。
			○資源・ごみ分別アプリの運用(資源循環推進課)	市民へごみ分別の効率的な啓発を行い、分別が実施されることによるごみの減量を目指す。

盛岡市デジタル化によるまちづくり推進戦略アクションプラン

視点	活動の方向性	取組方針	事業名 ○:計画事業、☆:検討事業	事業概要
視点1 市民の生活				
	活動の方向性③ 生涯にわたって便利に暮らせる社会の構築			
		取組方針(8)健康データを活用した医療・介護の推進		
			☆要介護認定事務支援AIサービスAitice運用業務委託(介護保険課)	要介護認定において、年間約14,000件のすべての調査票と特記事項の整合性のチェックを目視で行っているが、その作業をAIにより行うことで作業の効率化を図る。
		取組方針(9)デジタル活用による婚姻数・出生数の増加		
			○こども・子育て情報発信事業(子ども青少年課)	スマートフォン等で利用可能なりおか子育てアプリ「母子モ」の電子母子健康手帳による多様な機能の提供や、こどもの成長に合わせた地域の子育て情報の発信などにより、子育て世代にとって産み育てやすい環境を構築するとともに、出産や子育てに対する不安や抵抗感を軽減する。
		取組方針(10)デジタル活用による子育て・教育環境の改善		
			○公立保育所ICT化推進事業(子育てあんしん課)	幼児教育・保育の無償化や医療的ケア児の受け入れなど加速度的に多様化する保育需要の拡大に対し、公立保育所において保育業務ICT化を推進する。
			○学校教育ICT化推進事業(学校教育課、学校情報室)	GIGAスクール構想において全市立小中学校に整備した1人1台端末にAI型ドリルを導入し、ネット環境によらずオフラインで安心・充実した学習を目指す。
			○統合型校務支援システム導入事業(学校教育課、学校情報室)	校務業務全般をDX化するためのシステムを導入し、教職員の負担軽減、質の高い教育ときめ細かな生徒指導が実現する。

盛岡市デジタル化によるまちづくり推進戦略アクションプラン

視点	活動の方向性	取組方針	事業名 ○:計画事業、☆:検討事業	事業概要
視点2 地域の経済				
活動の方向性④ 地域資源とデジタルを組合わせた魅力的な事業やサービスの創出				
取組方針(11) デジタル活用による「盛岡ブランド」の展開				
			☆寄附要因分析に基づくもりおか元気応援寄附金推進事業(ふるさと納税)を活用した特産品等の市の魅力発信(都市戦略室)	大学と連携した寄附者の寄附要因分析を行うことで、デジタル活用にした市の魅力発信に向けた調査研究を実施する。
取組方針(12) 地域内循環経済の促進を促すための市民アプリ(MORIOペイ等)の利用拡大				
			○MORIOペイを活用した地域経済の好循環の促進(経済企画課)	民間事業者において、地域経済循環型電子決済アプリ「MORIOペイ」を活用した商品券やクーポン発行機能などの活用を促進することで、地域経済の好循環を図る。
活動の方向性⑤ 地元の企業及び事業所の業務効率化・生産性向上の推進				
取組方針(13) 地元の企業及び事業所のビジネス拡大・再成長の支援				
			○盛岡AI・IoTプラットフォーム事業(ものづくり推進課)	セミナーや学習会、実証実験支援、高度IT人材育成、スタートアップ支援、サテライトオフィス立地促進等を行い、IT企業と製造業等の異業種連携を促進し、デジタル技術を活用した未来技術の社会実装・実用化を推進し地域経済の成長基盤を構築する。
			○AIを活用した人流分析システム整備(経済企画課)	中心市街地における空き店舗を活用した新規開業や大型商業施設等の空きスペースを活用したチャレンジショップ事業、商店街や事業者が連携した消費喚起イベント開催に対して、AIを活用した人流分析システムのデータの利活用を含めた支援を行う。
			○盛岡駅西口複合施設整備調査事業(経済企画課)	IT関連企業等の域外市場産業の集積や、異業種間交流による地域企業の労働生産性向上を図るため、民間投資によるオフィス機能を備えた複合施設の整備に係る調査を実施する。
			☆電子請求システムの導入(会計課)	市と取引のある企業の請求書作成の事務負担やコスト削減のため、請求書の発行をインターネット上のクラウドサービスを利用して電子データで行う。
取組方針(14) デジタル人材の獲得・育成の推進				
			○盛岡AI・IoTプラットフォーム事業(ものづくり推進課)	セミナーや学習会、実証実験支援、高度IT人材育成、スタートアップ支援、サテライトオフィス立地促進等を行い、IT企業と製造業等の異業種連携を促進し、デジタル技術を活用した未来技術の社会実装・実用化を推進し地域経済の成長基盤を構築する。
活動の方向性⑥ 人・技術・知見が集まる環境の整備				
取組方針(15) デジタル活用による地域の雇用環境の改善				
			○盛岡AI・IoTプラットフォーム事業(ものづくり推進課)	セミナーや学習会、実証実験支援、高度IT人材育成、スタートアップ支援、サテライトオフィス立地促進等を行い、IT企業と製造業等の異業種連携を促進し、デジタル技術を活用した未来技術の社会実装・実用化を推進し地域経済の成長基盤を構築する。
取組方針(16) 多様な人材確保に向けた支援				
			○盛岡駅西口複合施設整備調査事業(経済企画課)	IT関連企業等の域外市場産業の集積や、異業種間交流による地域企業の労働生産性向上を図るため、民間投資によるオフィス機能を備えた複合施設の整備に係る調査を実施する。

盛岡市デジタル化によるまちづくり推進戦略アクションプラン

視点	活動の方向性	取組方針	事業名 ○:計画事業、☆:検討事業	事業概要
視点3 まちづくり・文化				
活動の方向性⑦ 持続的かつ革新的な価値を持つ地域づくりの推進				
取組方針(17) デジタル活用による地域資源(歴史・文化・スポーツ等)の価値向上				
			☆博物館等施設のデジタル化による機能強化及び文化財を起点とした観光誘客事業(歴史文化課)	博物館等施設に収蔵されている資料のデジタルアーカイブ化や、音声ガイドシステムによる展示解説などの体験型デジタルコンテンツの導入を行う。
取組方針(18) デジタル活用による観光客への情報発信・観光対応の推進				
			☆博物館等施設におけるキャッシュレス決済導入事業(歴史文化課)	施設利用者の利便性向上のため、施設の入館料、物品の購入に際し、クレジットカードや電子マネー、QRコード決済を導入する。
活動の方向性⑧ 安全・安心な都市インフラ環境の整備				
取組方針(19) 交通環境のデジタル化推進				
			☆AIデマンド型交通の導入検討(交通政策課)	郊外部など公共交通不便地域における移動手段の確保のため、地域特性や利用実態を踏まえながら、AIを活用したデマンド型交通等の導入に向けて検討を行う。
取組方針(20) デジタル活用による都市インフラの高度化推進				
			○3D都市モデル整備事業(都市計画課)	国土交通省が取り組む「Project PLATEAU」に参画し、盛岡市の様々な都市活動データや施設情報等を統合する情報基盤として国土交通省が策定する標準仕様に準拠した3D都市モデルを整備する。
活動の方向性⑨ 関係人口増加のためにまちの魅力を発信				
取組方針(21) デジタルの活用による本市の魅力発信				
			○県外在住者登録制度「MORIOKA CONNECTION ID」の運用(都市戦略室)	県外にいながら盛岡を応援したい、関わりを持ちたいとの気持ちを有する県が在住者と本市とがつながり、新たな交流や盛岡へのさらなる愛着の増幅を目指し、盛岡ファンクラブ「MORIOKA CONNECTION ID」を運用する。